



第11期 活動報告書 第12期 活動計画書

一般財団法人みらいこども財団

2024年9月～2025年8月末



- ◆活動理念・ビジョン
- ◆11期活動報告
- ◆12期活動計画
- ◆成長戦略
- ◆団体概要
- ◆私たちの強み
- ◆潜在力
- ◆児童養護施設の支援
- ◆最後に

いつもご支援ありがとうございます！

ボランティアクルー一同



はじめに

2025年8月末をもちまして、みらいこども財団第11期の活動を無事に終えることができました。

また、第12期をむかえることができたのは、いつもご支援してくださる支援者のみなさまの後押しがあるからにほかなりません。

心より感謝申し上げます。

2020年のコロナの影響でボランティア活動にも大きな影響がありましたが、その間はオンラインでボランティアできる仕組みを作り地方の施設の支援を、さらにオンライン里親プロジェクトを行い、社会に大きなインパクトを与えることができました。

2022年に入り少しずつ従来の支援活動を再開することができましたが、この3年間はボランティア数が半分に減少してしまったこと、施設での支援活動を再開することに注力してまいりました。

まだ、日本では社会貢献が特別なものとされていますが、それでも設立以来全国の施設の支援を掲げて、ボランティア数は400名と支援先施設数と支援している子どもの人数は業界のボランティアの中では最大の組織となりました。これからも私たちの活動を全国にひろげることで、優しい日本をつくるために努力してまいります。



代表理事 谷山昌栄

活動理念

貧困と機会差別をなくす

誰もが優しくなれる機会を創造する

一人ひとりの5%をシェアするしくみをつくる

関わるすべての人が活動を通じて幸せな人生をおくる

社会課題解決のプラットフォームを目指して

- ◆全国の児童養護施設へ年間約1000回のボランティア活動を行い、年2回施設へのアンケートによる情報を収集しています。
- ◆児童養護施設とのネットワークを構築することで、誰もがボランティアに参加することができるプラットフォームをつくり、多くの人が社会課題を解決することのできる社会を目指しています。



長期目標

2035年

- 全国約600すべての児童養護施設と施設に暮らす子ども2万2千人の支援
- 施設を卒園した若者が独り立ちできるような継続的な伴走支援
- ボランティアクルー10万人
- パートナー企業500社



中期目標 2028年

- 全国6か所にみらいこども財団の活動拠点を設置
- 訪問・オンライン支援先施設100か所
- ボランティアクルー 1000人
- パートナー企業 100社

第11期活動報告



第11期活動報告

数字で見るみらいこども財団の活動

- ◆延べ施設訪問数（1年間） 999回
- ◆関わった子どもの延べ人数 7200人
- ◆支援先施設数（寄付含む） 288施設
- ◆ボランティア在籍人数 212名
- ◆オンライン里親在籍人数 253名

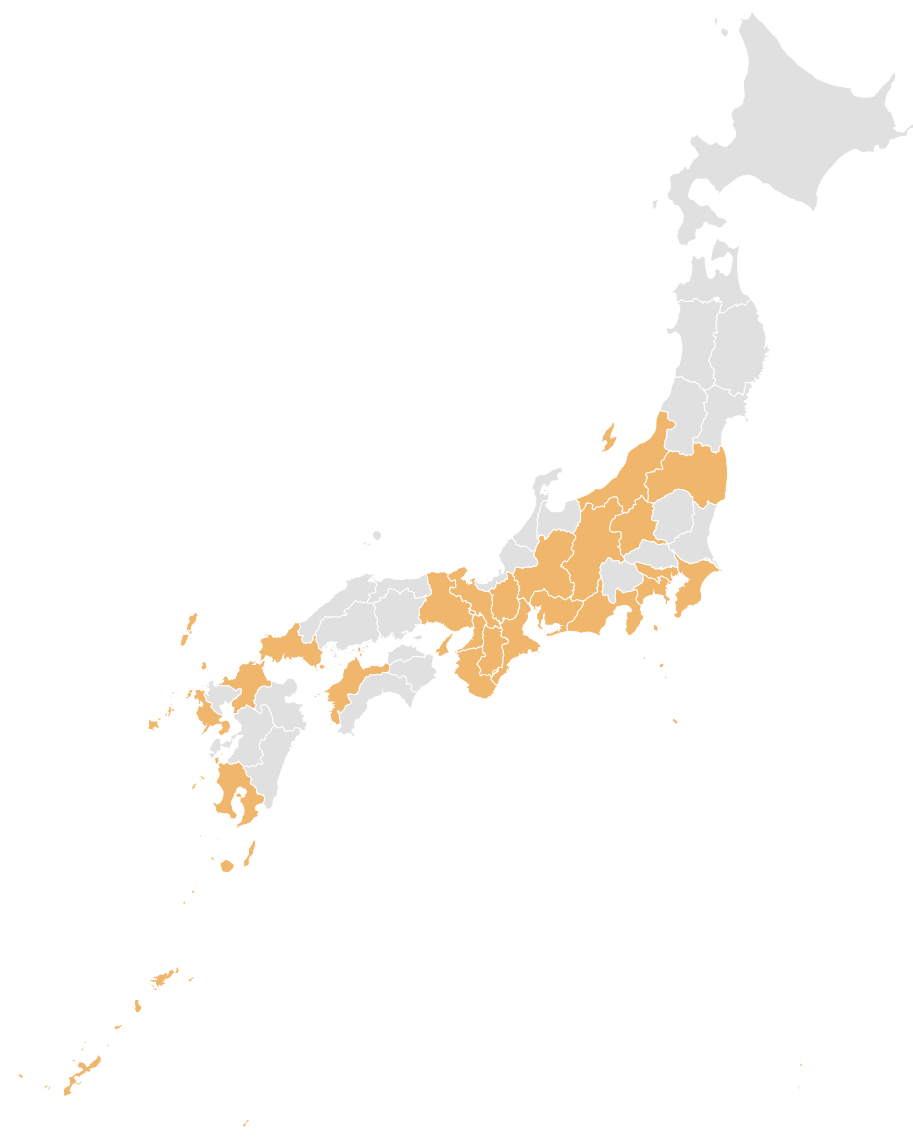
施設ボランティア支援体制 昨対比

◆支援先施設 ボランティア	28施設	→	31施設
◆支援先施設 (寄付)	500施設	→	288施設
◆卒園後の子ども	33名	→	47名
◆ボランティア人数	198名	→	217名
◆オンライン里親	202名	→	253名

支援先児童養護施設数の推移

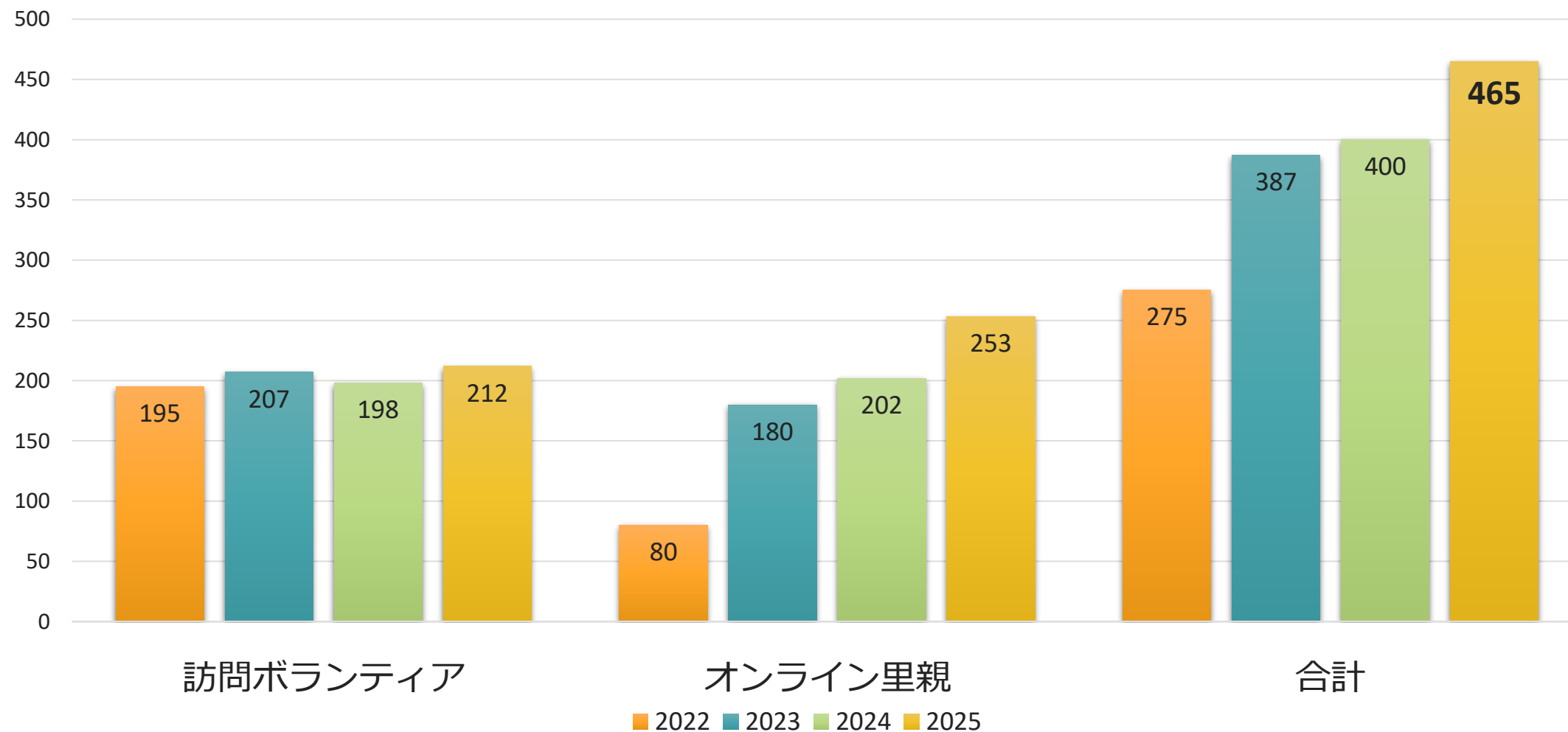
	訪問先	オンライン交流先	1か月の 平均訪問回数
2021	10	0	5
2022	15	9	25
2023	18	10	50
2024	25	11	60
2025	25	10	83

訪問やオンラインで継続して支援をしたことのある施設



ボランティアの推移

現在465名



第11期活動報告

支部ごとのボランティアクルー

◆東京支部	47名
◆大阪支部	94名
◆オンライン支部	71名
◆オンライン里親	253名

卒園後の支援



みらいこども財団の奨学金制度 「オンライン里親」

◆支援学生 **47名**

(うち第11期に支援を開始した学生13名)

(2025年3月プロジェクト卒業生8名)

奨学金支給金額の推移

奨学金支給金額（千円）

2022（第8期）	6,220
2023（第9期）	9,159
2024（第10期）	9,569
2025（第11期）	10,608

訪問ボランティアによる伴走支援 「つなぐプロジェクト」

◆支援中 9名

(オンライン里親での支援学生を除く)

数年間継続して施設を訪問して子どもたちと信頼関係をつくることで
施設を卒園してからも子どもたちをサポートすることができました。

寄付金



支援者数と寄付金額の推移

	寄付金額（千円）	毎月会員数
2021（第7期）	23,013	92
2022（第8期）	52,789	151
2023（第9期）	66,014	199
2024（第10期）	66,891	210
2025（第11期）	101,485	275

◆寄付金額

昨年度実績対比

151%

昨年度より大幅に支援の輪が広がりました。

ボランティア育成

◆勉強会の実施

ボランティア向けの勉強会を毎月開催し、ボランティアスキルの向上を行いました。

◆リーダー研修・ボランティア研修の実施

ボランティア活動の高次化を目的に、新たにリーダー向けの研修を行いました。

◆全支部合同ミーティングの実施

ボランティア同士の連携強化を目的に、いままでバラバラにおこなっていたMTGを毎月合同で行いました。

児童養護施設との関係性強化

- ◆児童養護施設にて活動計画発表会の開催
- ◆児童養護施設の職員向け交流会の実施
- ◆オンライン里親奨学金制度の周知活動

企業との連携活動の拡大

- ◆企業従業員向けセミナーの実施
- ◆企業向け活動報告活動の実施
- ◆児童養護施設で企業との合同イベントの実施

トピックス



第11期活動報告

株式会社ファーストリテイリング様 ユニクロ・ジーユーイベント



- ◆ 児童養護施設内に仮設のユニクロをオープンしボランティアと従業員が接客をして直接洋服を手渡すイベントを行いました。

第11期活動報告

開催施設

9月	遙学園（大阪府）	参加者90名
10月	クリスマスフォレスト（東京都）	参加者30名
1月	清瀬子供の家（東京都）	50名
	美さと児童園（沖縄県）	30名
2月	ポート金が谷（神奈川県）	参加者60名
	和敬学園（京都府）	参加者30名
	高鷺学園（大阪府）	参加者 100名
7月	西台こども館（東京都）	参加者 40名
8月	四恩学園（大阪府）	参加者90名

株式会社 ニューバランス ジャパン様



- ◆ 児童養護施設の子どもたちが新しい靴を提案して発表し、洋服や靴をボランティアが手渡しでプレゼントするイベント

開催施設 8月 クリスマスヴィレッジ（東京都） 参加者30名

第11期活動報告

株式会社 トリドールホールディングス様



◆丸亀製麺のキッチンカーでボランティア、従業員と一緒に子どもたちと作りたてのうどんを食べるイベント

被災された石川県のあすなろ学園参加者30名

日本生命相互保険会社様

◆オンライン里親プロジェクト

- ◆日本生命の従業員 7 名が参加していただき、児童養護施設を卒園して、大学に通っている水野由香さん 19 歳を卒業までの 4 年間、主にオンラインでのかかわりを通じて支援しています。



ミライ基地プロジェクト始動

◆25年4月 本格稼働を目指しプロジェクトチーム設置

5月 基本計画策定

7月 プロジェクトチーム合宿（1泊2日）

10月 実証実験として子ども食堂を開催予定



ミライ基地プロジェクト始動

- ◆施設を卒業した子ども、
貧困で苦しんでいる子どもがいつでも立ち寄れる場所。
- ◆地域の優しい人が集い地域の課題を解決する、
新しいコミュニティ



第11期活動報告

みらいこども財団のボランティアによる オリジナルイベント開催

◆大阪府 こどもの里 参加者50名

2025年4月、7月

- ・ 謎解きイベント
- ・ 縁日イベント

◆コストをかけずに多くの子どもたちが楽しめるイベントを増やします。



第11期活動報告

ただいまプロジェクト

◆石川県、沖縄県、愛知県、長崎県など
地方の児童養護施設に
年1回訪問を継続しています。



大学との協業



第11期活動報告

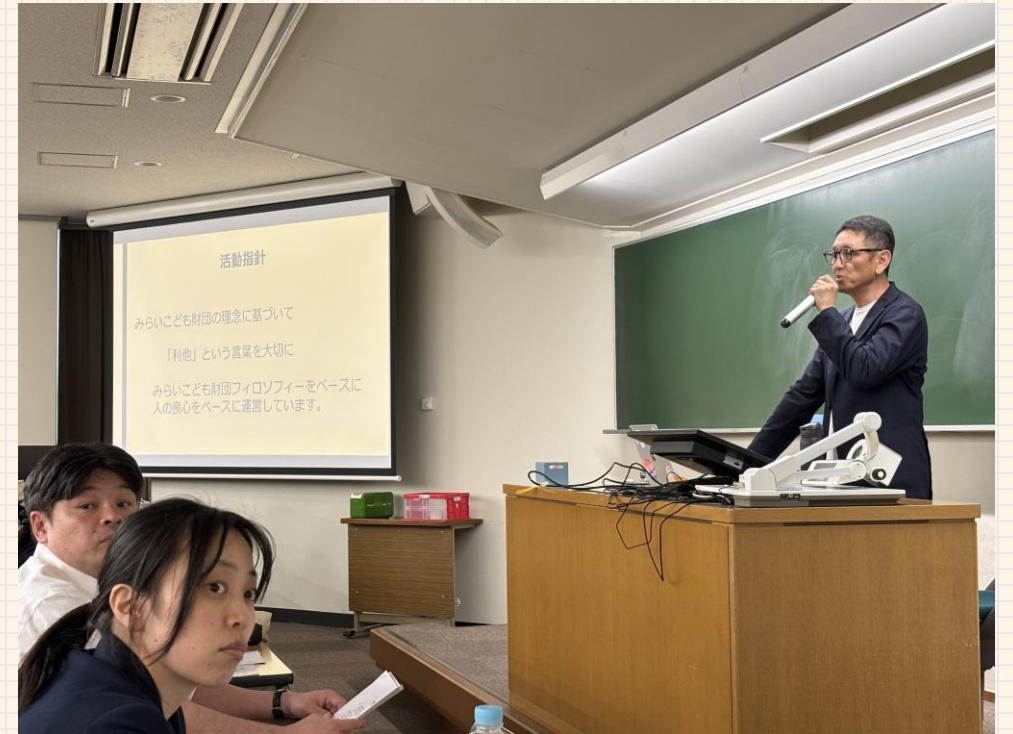
◆大阪公立大学様

学内でボランティア説明会を開催

◆ 関西大学様

講義「子どもの貧困と虐待」

西成スタディツアーを開催



施設への物品支援



延べ288施設へ物品寄付を行いました。（五十音順）

- ◆カラーズ(株)様 ヘアケア用品 30施設
- ◆グンゼ(株)様 下着寄贈 3施設
- ◆(株)ニューバランス ジャパン様 衣料品寄贈 1施設
- ◆(株)ファーストリテイリング様 衣料品寄贈 延べ251施設
- ◆(株)フィネス様 健康飲料 3施設

企業との連携



企業従業員様とのボランティア活動 (順不同)

◆施設ボランティア活動 (訪問・オンライン含む)

- ・ エーザイ(株)様・(株)ファーストリテイリング様・(株)Lilipassion様・LSEG様
- ・ (株)ニューバランス ジャパン様・(株)トリドールホールディングス様
- ・ SMBC日興証券(株)様・シスメックス(株)様・(株)魚国総本社様
- ・ (株)ARISE analytics様・日本生命保険(相)様ほか

◆施設見学

- ・ SMBC日興証券(株)様

◆オンライン里親

- ・ 日本生命保険(相)様

一般向け周知活動



広報活動 児童虐待の現状を多くの人につたえる活動

- ◆オンラインセミナー (1月を除く毎月 計11回)
- ◆ボランティア説明会 (毎月3回以上開催)
- ◆企業向けセミナー (KPMG様)
- ◆オンライン里親説明会 (毎月2回以上開催)
- ◆日本財団主催・ボランティアEXPO 参加



第12期活動計画



新規支援先、児童養護施設を増やす

10施設

新規ボランティアクルー

100名

ボランティアの活動拠点

新たな地域のコミュニティ

地域住民の居場所

みらいこども財団

従業員10名体制

寄付金・事業収益目標

1億円

第12期活動目標

施設ボランティア支援体制 目標

- ◆支援先施設 ボランティア 31施設 → 41施設
- ◆支援先施設 (寄付) 288施設 → 400施設
- ◆卒園後の子ども 56名 → 70名
- ◆ボランティア人数 212名 → 272名
- ◆オンライン里親 253名 → 293名

第12期活動計画

【3か年計画・最終年度】

- ・ 永続的发展のための事業基盤の確立
- ・ ボランティア活動の拡大
- ・ 日本全国の児童養護施設で暮らす子どもの支援

第12期活動計画

目標

- ◆全国に活動を広げる（12期・2026年8月期）
新規年間10施設（対象全国）
- ◆寄付・事業収入2億円、
スタッフ10名体制を目指す（第13期・2026年8月期）
- ◆東京・大阪にボランティア活動の拠点を作る（第13期・2026年8月期）
- ◆12期の重点目標 業務の見直しを行い、業務量30%削減、スタッフ増員（2～3名）業務の優先順位を明確にする

第12期活動計画

◆ボランティア事業

大阪支部 メイン担当：河野、サブ担当：松村

東京支部・オンライン支部 メイン担当：松村、サブ担当：河野

※各施設グループの担当は今まで通り、谷山、松村、河野となります。

◆オンライン里親事業

担当 谷山、松村、田村、河野

◆ドネーション事業

担当 大谷、田村

第12期活動計画

みらいこども財団のミッションである

優しい社会を作るために

児童養護施設、施設に暮らす子どもたちを

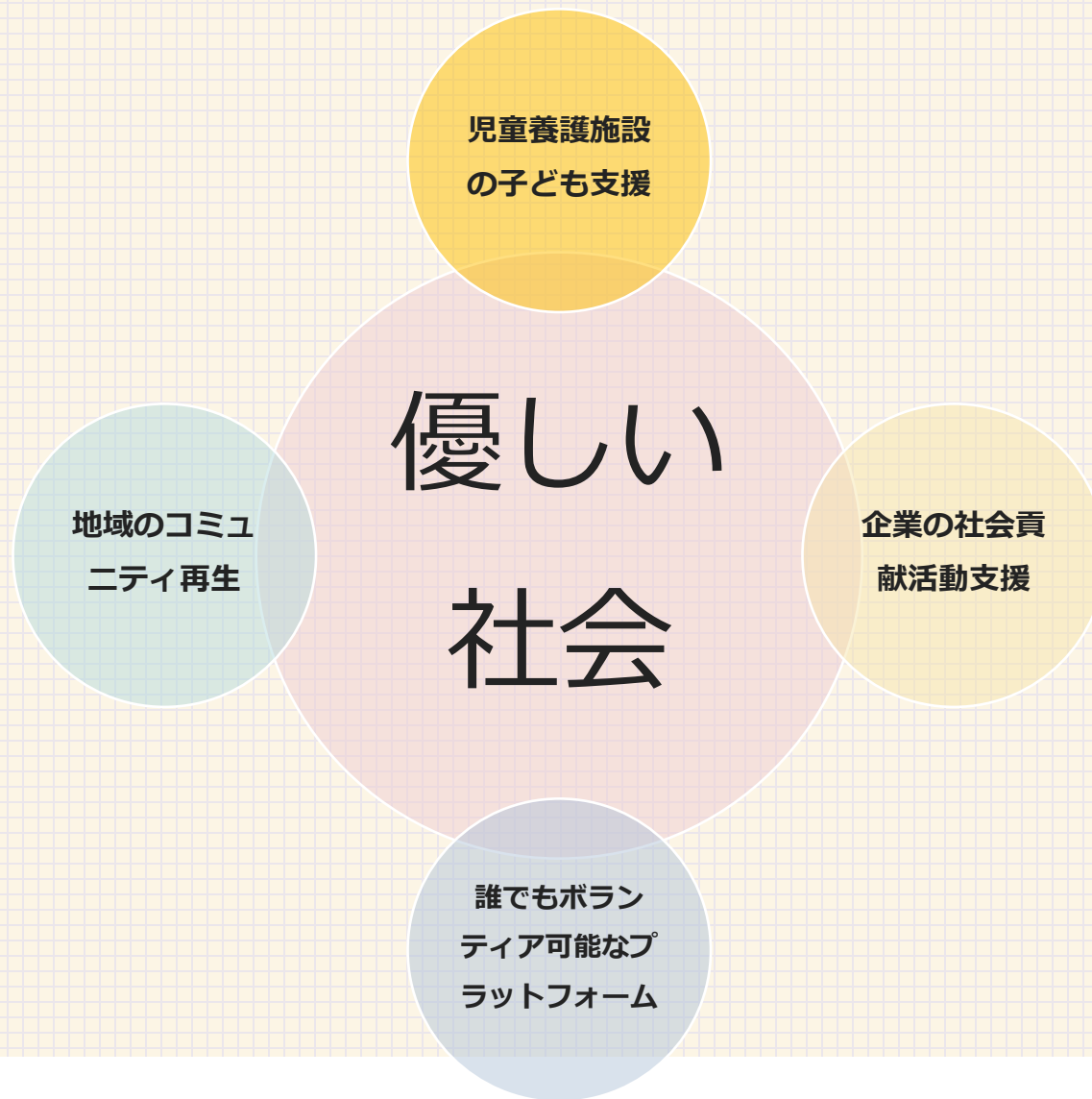
1人でも多く支援するための

新たに支援させていただける施設開拓を重点目標とします。



団体概要

みらいこども財団の活動



団体概要 (2024年8月31日現在)

Instagram

X(旧Twitter)

Facebook



名称 一般財団法人みらいこども財団

<https://miraikyou sou.com/>

info@miraikyou sou.com

拠点

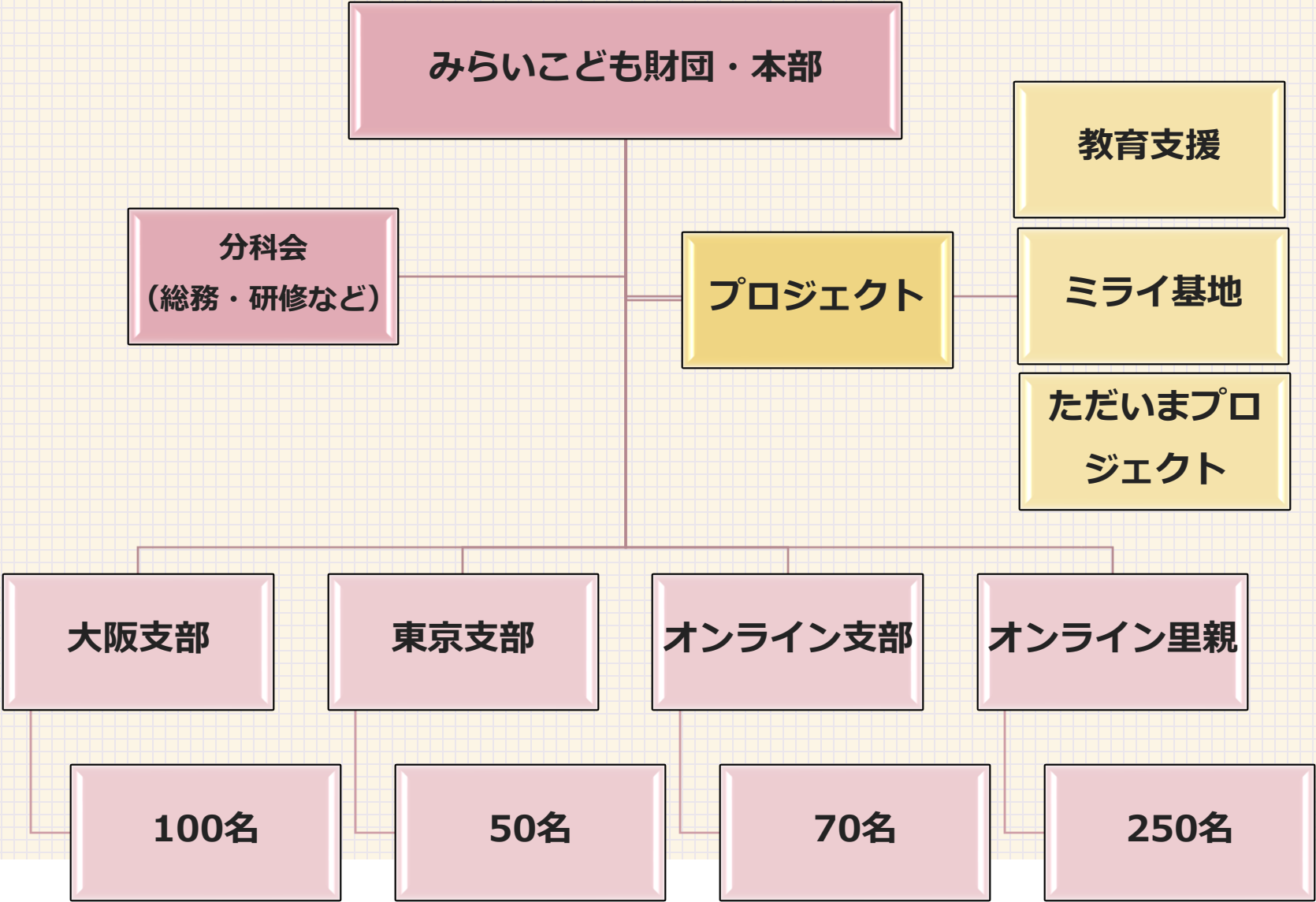
(大阪) 大阪府大阪市中央区内本町2-4-16オフィスポート内本町1108号

(東京) 東京都千代田区九段南1-5-6りそな九段下ビル5F KSフロア

役員 理事 谷山昌栄(代表理事)、水口良一、日比野大輔、小野恒二

監事 岡田隆、 評議員 松村康隆、角田祥子、南亜矢子

組織図



沿革

- 2010年 代表谷山が経営する（株）シセイの従業員と街の清掃を始める
- 2011年 （株）シセイの利益の一部を社会課題解決に使うことを決める
- 2012年 ボランティアとして児童養護施設の子どもたちの支援を本格的に始める
- 2014年 みらいこども財団を設立。ボランティアクルーを集める
- 2015年 大阪にて児童養護施設に毎月訪問する活動を始める。ボランティア162名
- 2019年 東京にて児童用施設を訪問する活動を始める。ボランティア280名
- 2021年 コロナ緊急支援プロジェクト・オンラインボランティア・
オンライン里親プロジェクトを始める
- 2023年 「つなぐプロジェクト」公式LINE開始。ボランティア387名



代表理事 谷山昌栄

日本の児童養護施設を支援する団体として支援先施設数、活動ボランティアクルー数最大のボランティア団体となる。

多様なボランティア活動

児童養護施設
訪問

教育支援

就業支援

職員向け
サポート

スタディ
ツアー

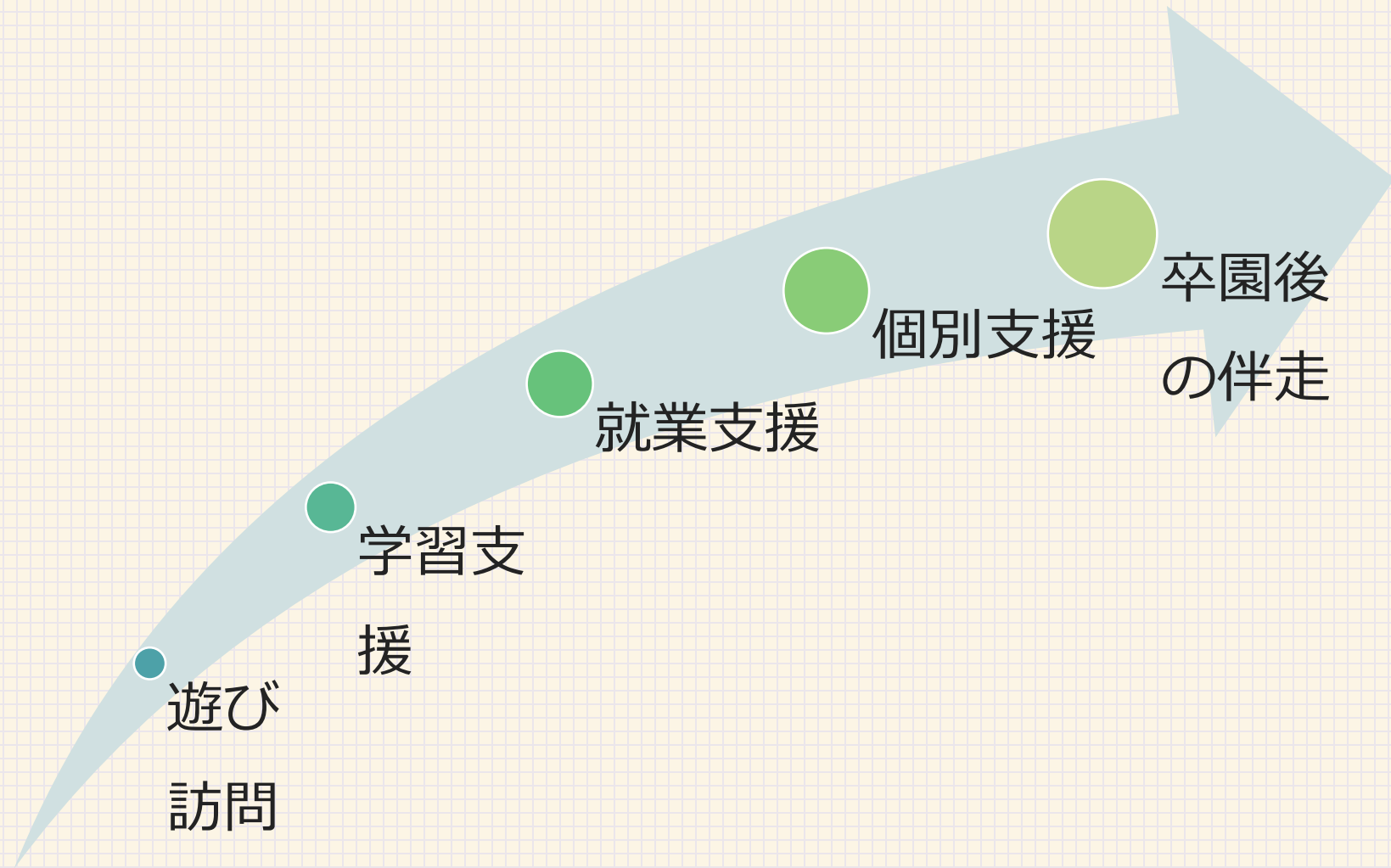
企業合同
イベント

一般向け
セミナー

企業のボラン
ティア支援

卒園後の支援

みらいこども財団の活動



みらいこども財団 本部スタッフ



大谷 絢

おおたに あや



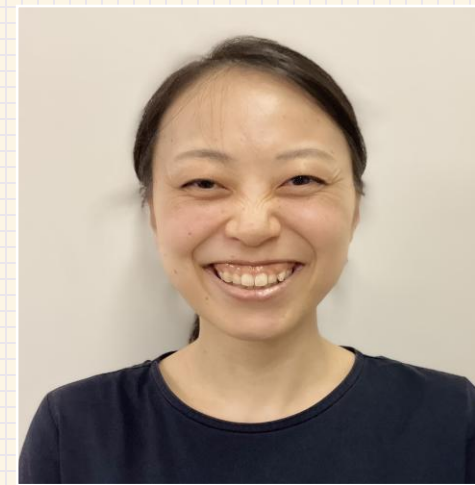
河野安理沙

かわの ありさ



田村 彩水

たむら あやみ



松村 明香

まつむら はるか



私たちの強み

活動実績

- ◆支援ネットワーク 全国600ほぼすべての施設
- ◆支援施設数 約300施設
- ◆交流施設数 約30施設
- ◆支援学生数 累計45名以上（オンライン里親）
- ◆ボランティア数 約450名
- ◆寄付物品総額 約1億円/年
- ◆施設職員様向け交流会、アンケート調査年2回など

強み

- ◆全国の児童養護施設とのネットワークがある
- ◆毎月80回以上施設にボランティア訪問している
- ◆施設にいる間から卒園してからの支援をしている
- ◆400名以上のボランティアが実質活動している
- ◆10年以上のボランティアノウハウがある

強み

- ◆ 国や行政からの助成金や補助金、受託事業などに一切頼らない運営を行っています。
- ◆ そのため、オンライン里親など業界の常識ではできない支援活動や、行政の手の届かない活動をスピーディーに行うことができます。

強み

- ◆ 児童養護施設の子どもの支援だけでなく
一般市民を対象に、誰もがボランティアしやすい
仕組みを作っている唯一の団体です。
- ◆ 市場は日本国民1億3000万人が対象
競合団体はほぼありません

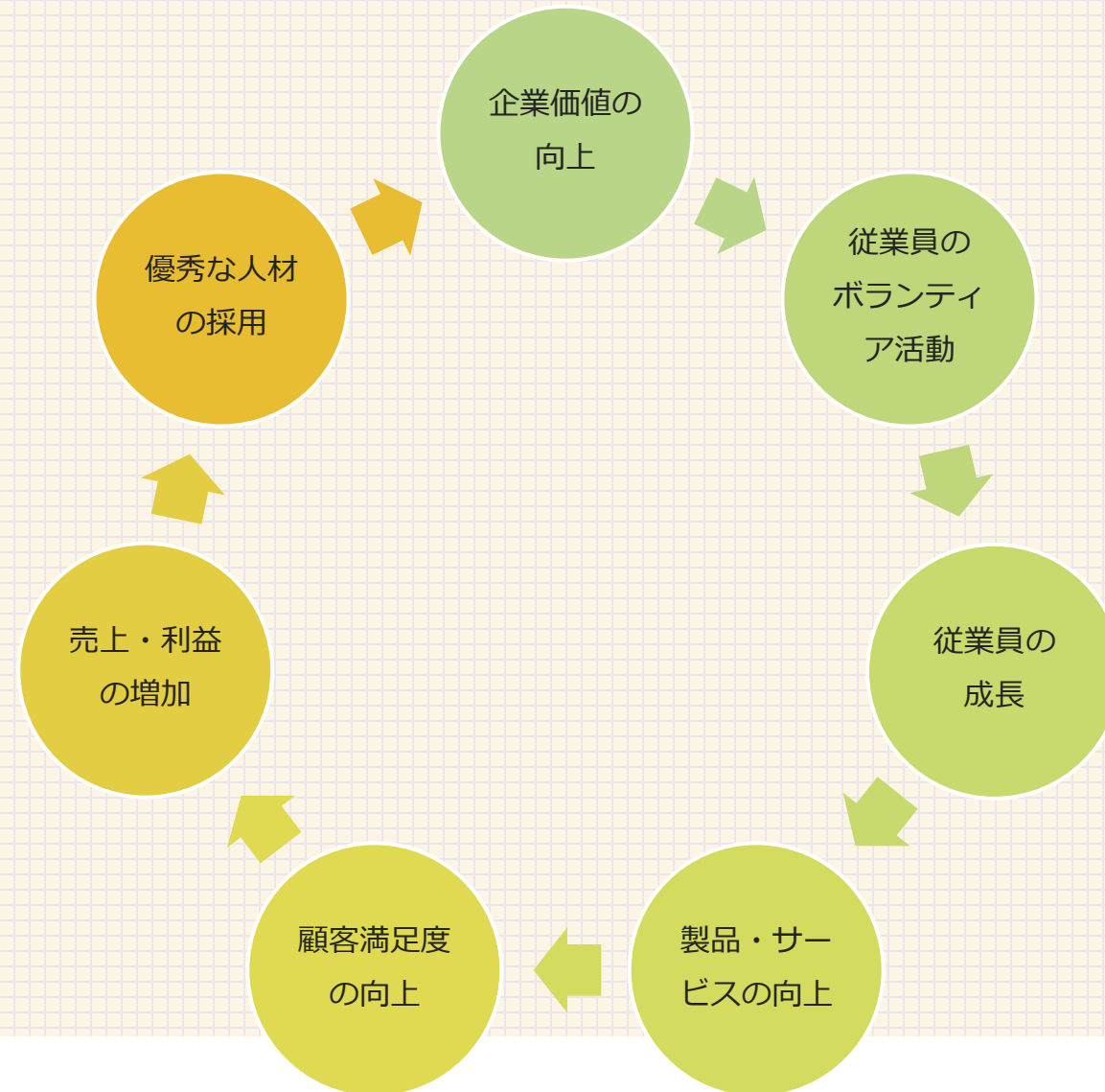


潜在力と 新規事業の可能性

新事業の可能性

- ◆ボランティア活動を企業における人材教育プログラムとして提供する
コンサルティング事業
- ◆児童養護施設の子どもたちの就業先マッチング事業
- ◆オンライン里親の海外展開
- ◆地域の新たなコミュニティとしてみらい基地の全国展開など

社会貢献を企業価値向上に



地域の人が地域の子どもを支える社会づくり

そのために、

全国にみらい基地をつくる

事業の可能性

◆みらい基地の維持費

- ・家賃・維持費（30万円）
- ・人件費 社員2名（80万円）
常駐する社員がいる。地域のボランティア募集や施設開拓をおこなう
- ・アルバイト 2名（30万円）
- ・その他経費・通信費・水光熱費・消耗品費（30万円）

➡月150～200万円程度を見込んでいます。

※空き家を低価格で提供していただいたり、地域の住民からの寄付金を集める工夫をすることでランニングコストは下がる可能性があります。

1拠点の年間維持費2,400万円×全国100か所のみらい基地＝24億円

事業の可能性

- ◆2050年の日本の人口は1億人と予想されており、現在より2000万人（約2割程度の）の人口減少が見込まれています。
- ◆さらに少子高齢化によって65歳以上は28.6%から37.1%
- ◆現役世代1人が支える65歳以上現在の2人で一人を支える、
からほぼ1人が1人を支えることになります。

事業の可能性

- ◆高齢者が若者を頼らずに生き活きと生活できる社会のために誰かから必要とされる喜びを感じることができる。
- ◆日本社会がたとえ貧しくなったとしてもお互いが助け合いながら、生きていける社会
- ◆地域の子どもは誰のこどもであろうと地域みんなで支える社会

事業の可能性

このような社会を2050年までに作るための
みらいこども財団の出した最適解が

だれもが社会貢献できる場をつくること

みんながボランティアとして活躍できる機会をつくること

A stylized illustration of a building's roofline. The roof is dark brown with a white trim along the eaves. The background is a solid blue sky. The roofline is positioned on the left side of the image, with the peak pointing towards the top center.

児童養護施設の 支援

なぜ児童養護施設で暮らす 子どもたちの支援が必要なのか

- ◆ 子どもの入所理由の9割が児童虐待である
- ◆ 児童虐待を経験した子どもの心の傷は簡単に癒えるものではない
- ◆ 児童養護施設の支援だけでは充分に子どものサポートができない

児童養護施設を卒園した
子どもたちの多くが
経済的、精神的に苦しんでいます。

◆社会と適合できずに転職を繰り返す

経済的な安定とは程遠く、貧困生活を余儀なく
される

◆水商売や風俗業界に行きつくことも多い

- ◆施設を卒園した後の公的サポートが不十分
 - ◆施設職員の個人的な支援だけでは限界がある
 - ◆毎年約1200名の子どもたちが施設を卒園している
- まったなしの状況なのです

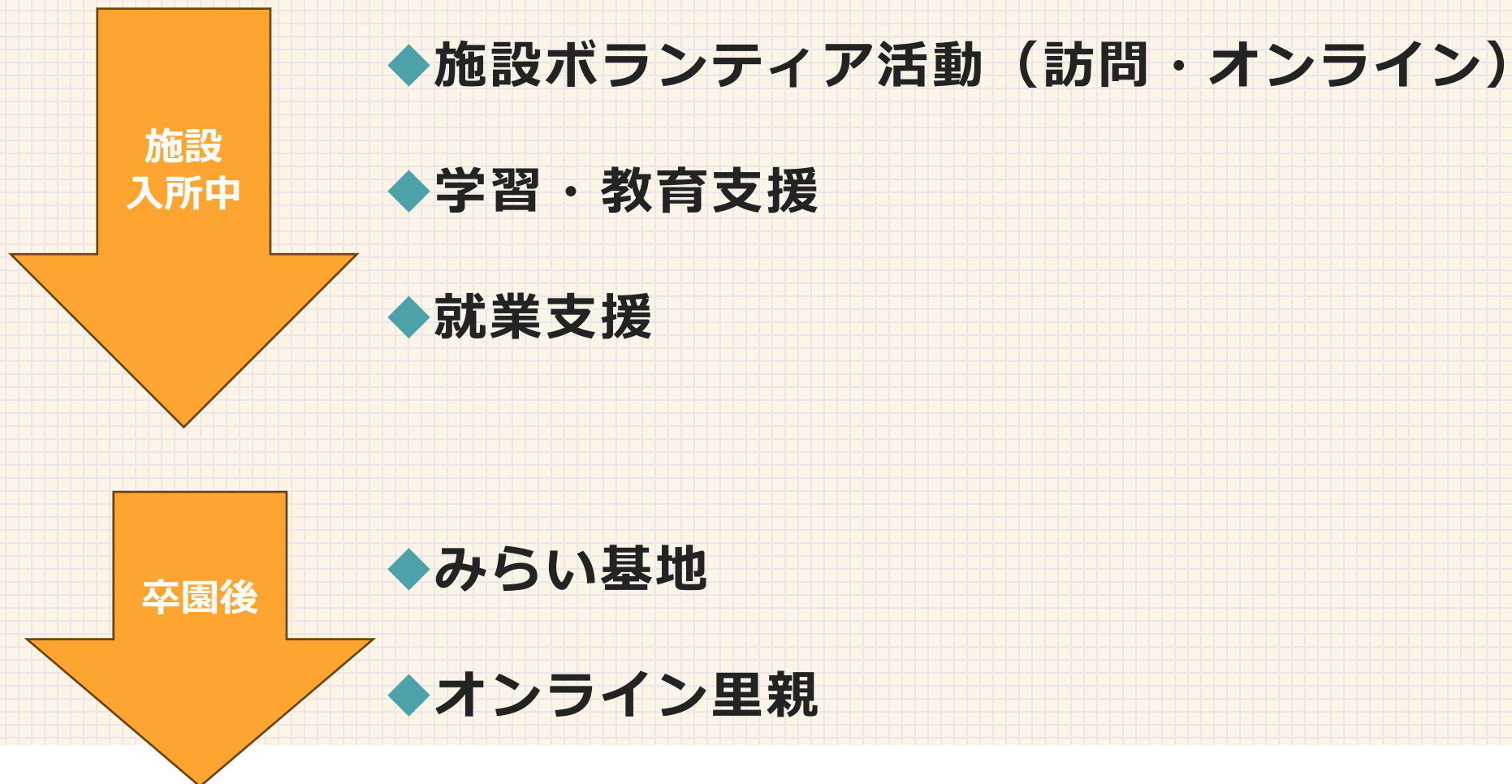
児童養護施設で暮らす子どもたちの支援

重要なことは、施設にいる間だけの支援ではなく
子どもたちが施設を卒園してからの支援が必要です。

そのために必要なのが
一貫通貫したサポートのしくみ

児童養護施設で暮らす子どもたちの支援

みらいこども財団の一貫通貫の支援のしくみ

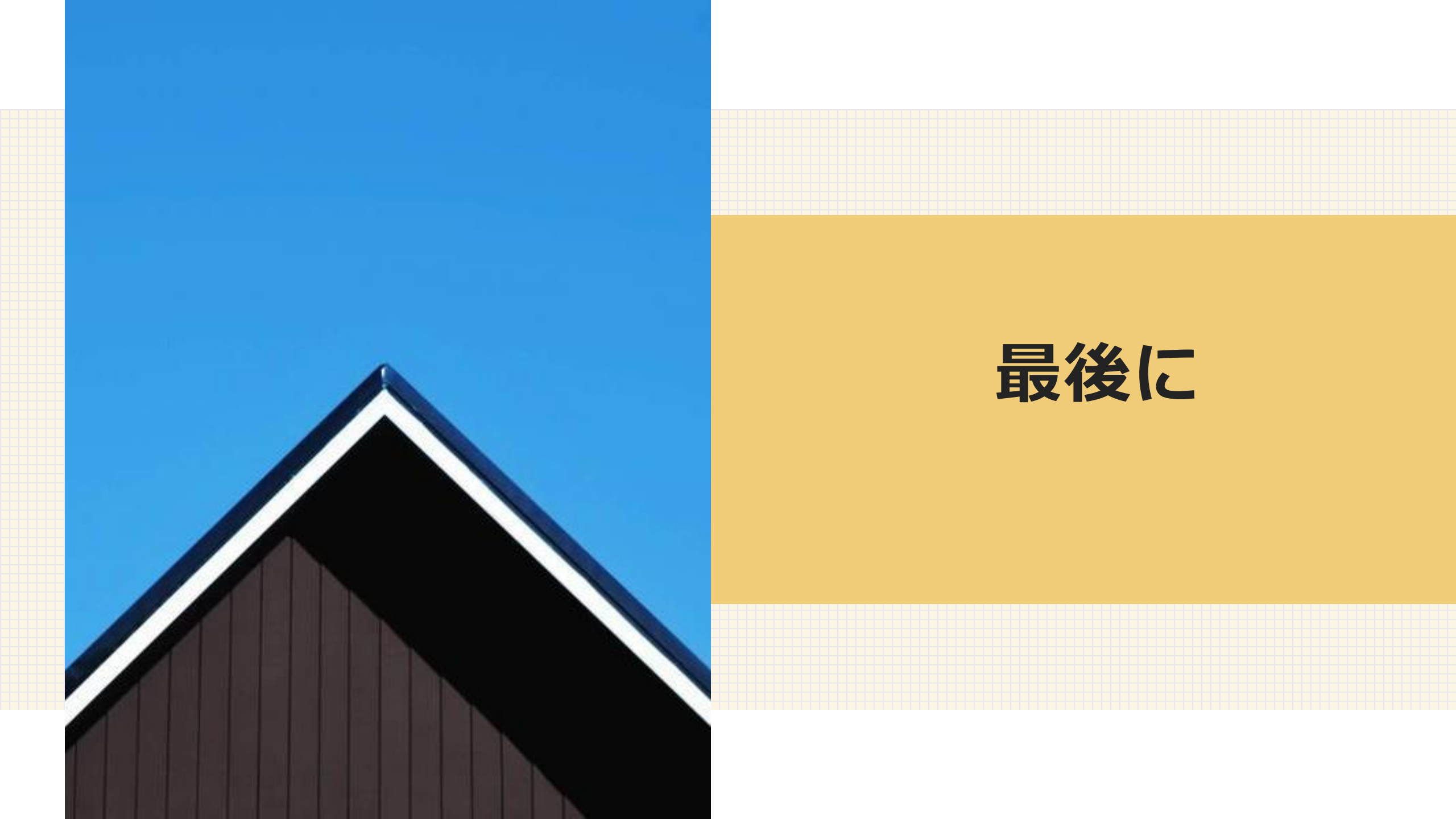


児童養護施設で暮らす子どもたちの支援

子どもを支援することによって

子どもたちが幸せな家庭をもって、働くことで

「良き納税者」となることが
大きな社会貢献につながります。



最後に

最後に

2014年

たった5人しかいない会社で始まった、週1回の町のごみ拾い活動。

2025年

ボランティア仲間は450名、訪問先施設は30施設、全国の施設とのネットワークをつくることができました。

最後に

もし、日本の企業のほとんどが
みらいこども財団のボランティアとして地域にある児童養護施設の
子どもたちに会いに行くことができれば

それだけで、子どもたちを取り巻く世界は変わります。

子ども一人に対して、10人、20人と支える大人ができるのです。

最後に

1人の従業員が年に1度、2時間施設に訪問して子どもと関わる。

地域の大人が近くの施設に年1回訪問して子どもと関わる。

そのような大人が大勢いれば、

こどもたちはそれだけで、前を向いて生きていけるはずです。

そんな簡単なことが実現できないはずはありません。

最後に

日本でだれもがお互いあたりまえのように
助けあうことができるしくみができたなら

日本発のイノベーションとして、世界に発信することで
世界中の人々を優しく変えることができるでしょう。

サポーター・協賛企業様（2025年8月31日現在 五十音順）

（寄付・物品提供）

愛和税理士法人様、アサヒグループ食品株式会社様、 株式会社adapt retailing様、株式会社アルトスター様、
イータイピング株式会社様、株式会社イオンテクノセンター様、イソップ・ジャパン株式会社様、エーザイ株式会社様、株式会社MCJ様、LSEG様、
カラーズ株式会社様、株式会社クリーンテック様、グンゼ株式会社様、 KPMGジャパン様、ゴールドフラッグ株式会社様、
サイボウズ株式会社様、株式会社サンゲツ様、株式会社シービック様、シスメックス株式会社様、株式会社ジャックス様、
株式会社千趣会様、株式会社 SOZO様、株式会社タイタン・アート様、株式会社豊田自動織機様、
株式会社トリドールホールディングス様、日本生命保険相互会社様、公益財団法人日本ライオンズ様、
株式会社NEWOLD CAPITAL様、株式会社ニューバランスジャパン様、税理士法人ネクサス様、
阪急阪神ホールディングス株式会社様、株式会社ビューティーネイラー様、株式会社ファーストリテイリング様、
株式会社ファンコミュニケーション様、 株式会社フィネス様、株式会社フォージョウハーフ様、株式会社フジイ様、株式会社プラット様、
ホームページテック株式会社様、三井住友海上労働組合理事会様、宮坂産業株式会社様、株式会社宮田運輸様、一般社団法人ミライバトン研究所様、
明星工業株式会社様、株式会社ヤマウチ様、弁護士法人ユア・エース様、ユーロモニターインターナショナル様、
横浜ゴム株式会社・YOKOHAMAまごころ基金様、利州株式会社様、株式会社Lilipassion様、レッキス工業株式会社様

（自販機プロジェクト）

株式会社ヒラタカグ様、山本通産株式会社様、株式会社三陽工業様、レッキス工業株式会社様、株式会社サンテック様

温かいご支援をありがとうございます。



ありがとうございました